

OITDA DM 01 (201x Ed. 1)

1×N 固定グリッド波長選択スイッチの動的クロストーク測定方法

概要

再配置可能な光増減設多重 (Reconfigurable Optical Add Drop Multiplexing, ROADM) 装置に、キーデバイスとして光スイッチ及び可変光減衰器の機能をもつ波長選択スイッチ (Wavelength Selective Switch, WSS) が用いられている。

WSS は、その性能が、ネットワーク容量、伝送距離などの光伝送システムの性能に与える影響は大きく、特に構成した光パスクロスコネクタ部での動的クロストークに関する議論が高まっている。

この規格は、信号光のチャンネルが ITU-T 50 GHz 及び ITU-T 100 GHz の固定グリッドの 1×N WSS における動的クロストークにおいて、端子の接続状態を切り替える間の、分波用 WSS における異チャンネル間動的クロストーク及び合波用 WSS における同一チャンネル間動的クロストークの測定方法を規定する。この規格で規定する内容は、測定装置の要求事項、測定手順、雑音成分の測定結果の例、計算式及び測定結果報告書に対する要求事項である。